

# 第 73 年度（令和 8 年度）事業計画書

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

大阪市北区大深町 5 番 54 号  
グラングリーン大阪南館パークタワー

公益財団法人 篷 庵 社

## 令和 8 年度事業計画

(令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日)

### I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、下記に該当する研究者を対象に研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施する。

- (1) 優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者
- (2) 他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者
- (3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者

#### 1. 研究助成金の交付

##### ◇「篷庵社助成」(推薦支援型)

全国を対象に外部理事または評議員が、優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者、また他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者、特に若手の独立前後で将来有望な研究者等、本財団の目的に相応しい研究者を選出して候補者として推薦する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で審議決定をする。

令和 7 年度までの「研究助成」を令和 8 年度より名称変更して交付する。

##### ◇「若手研究者助成」「中堅研究者助成」(公募型)

近畿 2 府 4 県(京都、大阪、滋賀、奈良、和歌山、兵庫の各府県)及びそれ以西の西日本(中国地方、四国地方、九州地方、沖縄県)を対象に公募する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で決定する。応募者との直接の利害関係者は選考の表決には加わらないよう選考委員会規程に定めている。

#### 2. 研究成果報告

「第 45 回公益財団法人篷庵社研究助成発表会」を開催し、研究成果を口頭で報告してもらう。財団ホームページにて成果報告(研究助成発表会講演要旨等)を公開する。

#### 3. 助成の募集

令和 9 年度の公募を行う。

## II.事業の内容

### 1. 研究助成金の交付

1) 【研究助成】 4年目：5件、 3年目：5件、 2年目：5件

(全国対象：75万円/件・年)

【篷庵社助成】 新規：5件

(全国対象：75万円/件・年) \*令和8年度より名称変更

計 20件 計 1,500万円

2) 【若手研究者助成】 新規：4件

(近畿2府4県以西対象：500万円/件・助成期間2年、初年度に全額支給)

【中堅研究者助成】 新規：3件

(近畿2府4県以西対象：500万円/件・助成期間2年、初年度に全額支給)

計 7件 計 3,500万円

**総計 27件 計 5,000万円を交付予定**

各助成金の交付先は【資料1】の通り。

### 2. 第45回研究助成発表会の開催

令和8年7月10日(金)午前10時00分から

於 ヒルトン大阪(大阪府大阪市北区梅田1丁目8-8)

プログラムは【資料2】の通り。

助成期間が終了した、令和4年度新規「研究助成」交付者および令和6年度新規「特別研究助成」交付者による研究成果の報告会を行う。

開催費：530万円

### 3 助成の募集他

公募型の令和9年度「若手研究者助成」「中堅研究者助成」の募集要項等を決定し、当財団ホームページよりWebシステムで募集する。

選考委員会を開催し、助成候補者の審査・選考を行う。

採択数は、推薦支援型の「篷庵社助成」5件、

公募型の「若手研究者助成」4件、「中堅研究者助成」3件程度の予定。

これら公益目的事業推進費：992万円

以上

## 【資料1】

## 令和8年度研究助成金交付先一覧表

◆ 篷庵社助成 (1件75万円×20件=計1,500万円)  
令和8年度より名称変更 (以前は研究助成)

\*所属は申請時のもの

助成	所 属 (申請時)	研 究 者 名	研究テーマ
4 年 目	徳島大学医歯薬学研究部 応用栄養学分野	瀬川 博子	成長・老化を制御するリン代謝調節機構の解明
	京都大学大学院医学研究科薬剤学/医学部附属病院薬剤部	中川 貴之	シュワン細胞を標的とした末梢神経再生に基づく末梢神経障害治療薬の探索
	高崎健康福祉大学薬学部・薬学科 分子動態制御学	中西 猛夫	肝物質動態の変化に基づくNAFLDの病態理解と診断法の開発
	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所	藤井 晋也	有機金属化合物の特性を利用した分子設計法の開発と医薬リード創出
	大阪大学大学院薬学研究科 生物有機化学分野	山口 卓男	創薬応用に向けた多機能人工核酸の開発
3 年 目	徳島大学 大学院医歯薬学研究部薬理学分野	池田 康将	鉄ストレス制御による慢性腎臓病の新たな治療戦略の創出
	北海道大学 大学院先端生命科学研究院	上原 亮太	染色体倍加による脈管内がん細胞凝集の分子機序と病理的意義の解明
	立命館大学薬学部	土肥 寿文	革新的メタルフリーカップリング戦略に基づく医薬分子合成法の開発
	大阪大学大学院工学研究科	平野 康次	光学活性含フッ素有機分子のケミカルスペース拡張を目指した不斉触媒の開発
	九州大学大学院薬学研究院	山田 健一	新規酸化リン脂質の探索・評価
2 年 目	名古屋大学大学院創薬科学研究科 細胞薬効解析学分野	小坂田 文隆	脳内情報表現の可塑性の解明とその制御による治療応用の探索
	東京大学大学院薬学系研究科	小松 徹	1分子レベルの酸化還元酵素活性検出系の開発と proteoform レベルの機能解析による疾患の理解の深化
	熊本大学大学院生命科学研究部 (薬学系)	中村 照也	DNA複製・修復にかかわる酵素反応機構の解明
	東京慈恵会医科大学医学部	山田 幸司	小胞体を起点とした核移行タンパク質の分泌機構の解明と発がん研究
	東京理科大学 理学部第一部 物理学科	山本 貴博	光音響イメージング増強剤としてのカーボンナノチューブの光熱物性研究
新 規	京都薬科大学	太田 智絵	植物酵素を用いた化合物合成およびオートファジー応答を指標とする抗がん薬開発
	東京大学大学院薬学系研究科薬化学教室	尾谷 優子	光応答性アミノ酸を利用した環状ペプチドの効率的合成と応用
	帝京大学 薬学部	久保 義行	血液精巣関門における薬物・栄養物輸送機構の解明
	大阪大学大学院薬学研究科	澤間 善成	有機分子への重水素導入法の開発と創薬応用
	東京大学 未来ビジョン研究センター	柴山 創太郎	医薬品研究開発における人材基盤の再構築

◆ 若手研究者助成（新規：1件500万円×4件=計2,000万円）

助成	所属（申請時）	研究者名	研究テーマ	
新規	薬学系	京都大学大学院薬学研究科 創薬有機化学分野	秋葉 宏樹	抗原上化学反応を利用した新規抗体医薬品 モダリティの創製
	薬学系	大阪大学大学院薬学研究科	中山 淳	生合成酵素を活用した汎用的マクロリド合 成基盤の構築
	医学系	熊本大学病院 呼吸器内科	佐藤 亮	肺ペリサイトの動的機能変容に着目した肺 線維症に対する 新規治療戦略の創出
	医学系	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 循環器内科学 分野	江本 拓央	慢性血栓塞栓性肺高血圧症の病態解明：シン グルセル解析からのアプローチ

◆ 中堅研究者助成（新規：1件500万円×3件=計1,500万円）

助成	所属（申請時）	研究者名	研究テーマ	
新規	薬学系	広島大学 大学院医系科学研究科 研究科 医薬分子機能科学研究 室	長瀬 健一	温度応答性高分子を活用したエクソソーム 精製技術の最適化と製剤化への基礎的検討
	医学系	国立循環器病研究センター 研究所 心血管老化制御部	清水 逸平	肥大型心筋症における心筋浮腫、病的意義解 明及び治療標的探索
	医学系	九州大学大学院医学研究院 生化学講座	池ノ内 順一	上皮収縮を制御するHomer複合体を介 した神経管閉鎖異常の分子基盤解明

◆ 特別研究助成 助成継続中（助成期間2年）

助成	所属（申請時）	研究者名	研究テーマ	
2 年 目	薬学系	大阪大学 産業科学研究所 複合分子化学研究分野	伊藤 幸裕	RNA を選択的に切断する分子の創製とその 創薬研究への応用
	薬学系	京都大学 大学院薬学研究科 薬品合成化学分野	瀧川 紘	天然物の構造多様化を鍵とするABCトラン スポーター制御分子の開発研究
	医学系	京都大学 医生物学研究所	橋口 隆生	ウイルスフリー実験系を用いた高病原性ウ イルスの中和抗体逃避機構の解析
	医学系	香川大学 医学部薬理学	北田 研人	加齢や肥満に伴う筋萎縮の新たな発症機序 解明：組織水分量と浸透圧ストレスの観点か ら
	医学系	京都大学 医生物学研究所 がん・幹細胞シグナル分野	服部 鮎奈	悪性腫瘍における細胞内アミノ酸代謝を標 的とした創薬研究

## 第45回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日 時： 令和8年7月10日(金)10時00分から16時20分

場 所： ヒルトン大阪

※講演順、演題等は変更となる場合がございます。

10:00-10:05 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 澤田 拓子

	演 題 (講演20分、討論10分)	座 長
10:05-	1. 高反応性スピロシクロプロパンの開裂一環化反応を用いる新規環状化合物合成法の開発とその応用 南部 寿則 先生 (京都薬科大学 薬品製造学分野)	北 泰行 先生
10:40-	2. ねじれたパイ共役分子を用いた水素結合性多孔質結晶材料の開発 久木 一朗 先生 (大阪大学大学院 基礎工学研究科)	戸部 義人 先生
11:15-	3. 誘導因子シグナルによる胚発生と組織再生の制御機構 鈴木 厚 先生 (広島大学 両生類研究センター 発生再生シグナル研究ユニット)	北村 幸彦 先生
11:45-	昼 食 休 憩	
12:35-	4. 機能性小分子を応用した細胞内シグナル伝達の操作と可視化 上野 匡 先生 (東京大学大学院 薬学系研究科)	長野 哲雄 先生
13:10-	5. 核輸送因子importin $\alpha$ の細胞内機能の切り替えとその生理作用の解明 安原 徳子 先生 (日本大学 文理学部生命科学科)	米田 悦啓 先生 代理 医薬基盤・健康・栄養研究所 宮本 洋一 先生
13:45-	《特別研究助成》 6. HTLV-1感染症征圧のための構造生物学的手法を用いた新規モダリティ開発 木村 香菜子 先生 (京都大学 医生物学研究所)	塩野義製薬(株) 研究員
14:15-	休 憩	
14:35-	《特別研究助成》 7. 「抗原・アジュバント一体型糖鎖修飾金ナノ粒子」によるがん免疫療法の創生 諸石 寿朗 先生 (東京科学大学 総合研究院 難治疾患研究所 細胞動態学分野)	塩野義製薬(株) 研究員
15:10-	《特別研究助成》 8. 非天然アミノ酸が拓く細胞内PPI標的中分子ペプチド創成 矢崎 亮 先生 (九州大学 高等研究院)	塩野義製薬(株) 研究員
15:45-	《特別研究助成》 9. 自然免疫型T細胞の機能を利用した新たな創薬モダリティの創出 井貫 晋輔 先生 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部 創薬有機化学分野)	塩野義製薬(株) 研究員